

# 佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック (有床歯科施設)

単独型、管理型、協力型

「研修施設運営を経験して」

佐々木 研一

2019年7月31日 厚生労働省  
第7回歯科医師臨床研修に関するワーキンググループに於いて  
—歯科医師臨床研修制度改正について—

# 4月単独型・管理型研修医の入職式と オリエンテーションの開始



# 1. 当院の特徴

有床歯科施設(3室3床の入院設備)  
全身麻酔設備

単独型・管理型・協力型研修施設

日本口腔外科学会研修施設  
日本障がい者歯科学会臨床経験施設  
日本顎顔面インプラント学会研修施設

開設場所:千葉県館山市:人口約45,000人  
(2019/7月現在)

高齢化率:38.3%

要支援、要介護者数:3604人

# ○歯科医師臨床研修指導歯科医

常勤6名、非常勤4名

# ○歯科医師臨床研修プログラム責任者

常勤2名

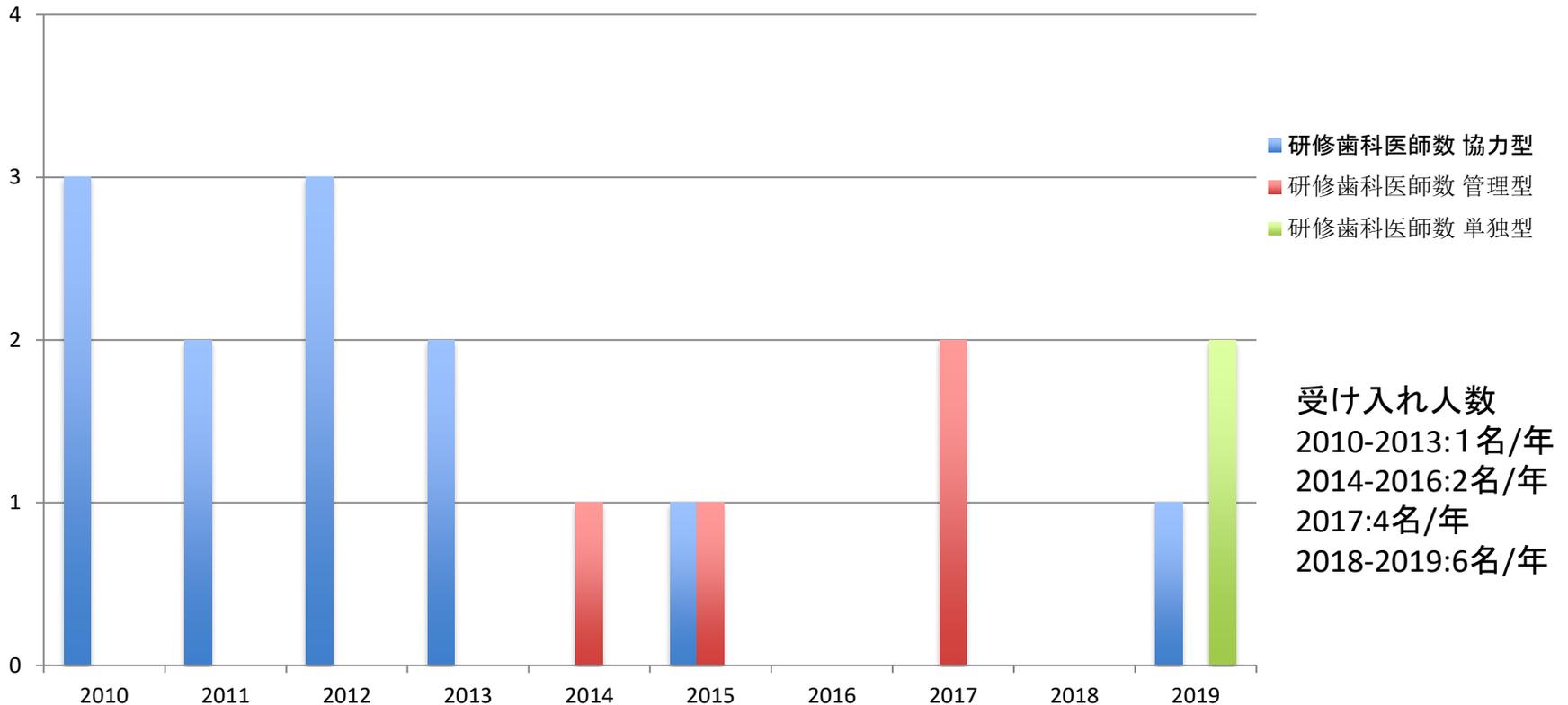
(今秋1名受講予定)

# ○歯科衛生士数17名

# ○研修歯科医の9割は大学に就職

理由として勤務医の大多数が大学関係者または経験者のためその影響を強く受けるからと考える。

# 当院の研修歯科医師数年次推移



## 協力型臨床研修施設から管理型または単独型研修施設になるための課題

- 1: 協力型で何年かの経験を積み管理型、単独型に追加・変更するのがよい。
- 2: 管理型、単独型を運営をするためには、十分な数の研修指導歯科医と歯科衛生士が必要。
- 3: 管理型・単独型研修施設に専従事務スタッフがいることが望ましい。

# 当院の概要

## 職員数45名



# 地域の口腔外科専門医と歯科麻酔専門医が行う 外傷対応の必要性と当院の日本口腔顎顔面外傷学会主幹



安房消防救急隊と安房地域医療センター救命救急科および当院の3者連携

**第18回** The 18th Annual Meeting of  
Japanese Society of Oral and Maxillofacial Trauma

## 日本口腔顎顔面外傷学会 総会・学術大会

### 口腔顎顔面外傷と機能回復

**日時** 2016年 **7月31日** ①

**会場** 東京歯科大学 (水道橋校舎) 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-1-14

**大会長** 佐々木 研一 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座 臨床教授  
日本口腔外科学会指導医・専門医  
医療法人 渉仁会 佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック理事長・院長  
(千葉県館山市)

**プログラム**

- 特別講演  
口腔顎顔面外傷後の機能回復 インプラント?  
演者 矢島 安朝先生 東京歯科大学インプラント学講座 主任教授
- シンポジウム指定演題  
口腔顎顔面外傷と地域医療
- 一般演題

事前参加登録  
**2月19日** ① ▶ **5月30日** ①

一般演題登録期間  
**4月 1日** ① ▶ **5月 2日** ①

医療法人 渉仁会  
佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック  
〒294-0048 千葉県館山市下真倉826-1  
TEL:0470-24-8001 FAX:0470-24-8002  
E-mail: oraltrauma@sasaki-dentistry.com

実行委員長 柴原 孝彦 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座 主任教授  
準備委員長 根本 淳 医療法人 渉仁会 佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック 副院長

● 大会ホームページ <http://oraltrauma18.sasaki-dentistry.com/>

病院歯科口腔外科がない地域における  
口腔外科(口腔外科専門医の利用)と一般歯科診療の両立  
口腔外科手術と日常診療の中の点滴、採血、Vital、口腔内科疾患への対応



全身麻酔下の顎嚢胞摘出手術



外来における一般歯科診療の様子 8



## 口腔内科・ 口腔腫瘍外来 (日本がん治療認定 医機構専門医(口腔 外科))

- \* 口腔外科専門医による診察前にNsによるVital測定を行う。
- \* 訪問診療でも同様に行っている。

高齢者増加による口腔内科疾患(口腔乾燥症、舌痛症、口内炎、味覚異常、口腔心身症、ほか)増加

東京歯科大学(水道橋病院、千葉歯科医療センターは連携医療機関)で当院の口腔がん患者を手術しているため、当院勤務の同大学口腔外科(口腔がん専門医)が大学口腔外科と協働で経過観察を行っている。

## 2. 研修開始

# 研修開始まずは形成練習

(問題点: 時間外に形成練習することが多く、残業時間対策が課題)



抜去歯牙を用いて、形成、カリエス処置、抜歯実習を行う。  
抜歯の際は歯根にガーゼ1枚を巻き接着剤で固定し石膏埋没<sup>11</sup>

# 5名の歯科医師臨床研修指導歯科医による 指導を受けながら



# 歯科麻酔認定医による採血と血管確保実習



恒例の粘液嚢胞摘出術を想定した  
みかんの皮剥きと基本的な鑷子と尖刀の使用  
法を学ぶ、他に恒例の縫合実習



## 実際の患者様の印象採得



## VEの体験実習、評価法を学ぶ



# 歯科麻酔専門医指導による 気管挿管



# 訪問診療

\* 日本の超高齢社会への対応として  
訪問診療、認知症、要介護者への  
接しかた、外来診療とは異なる  
歯科医療のありかたについて学ぶ\*

# 東京都の人口の変化

## (人口減少変化なし、高齢化は緩やか)

2005年

2045年

東京都の人口構成

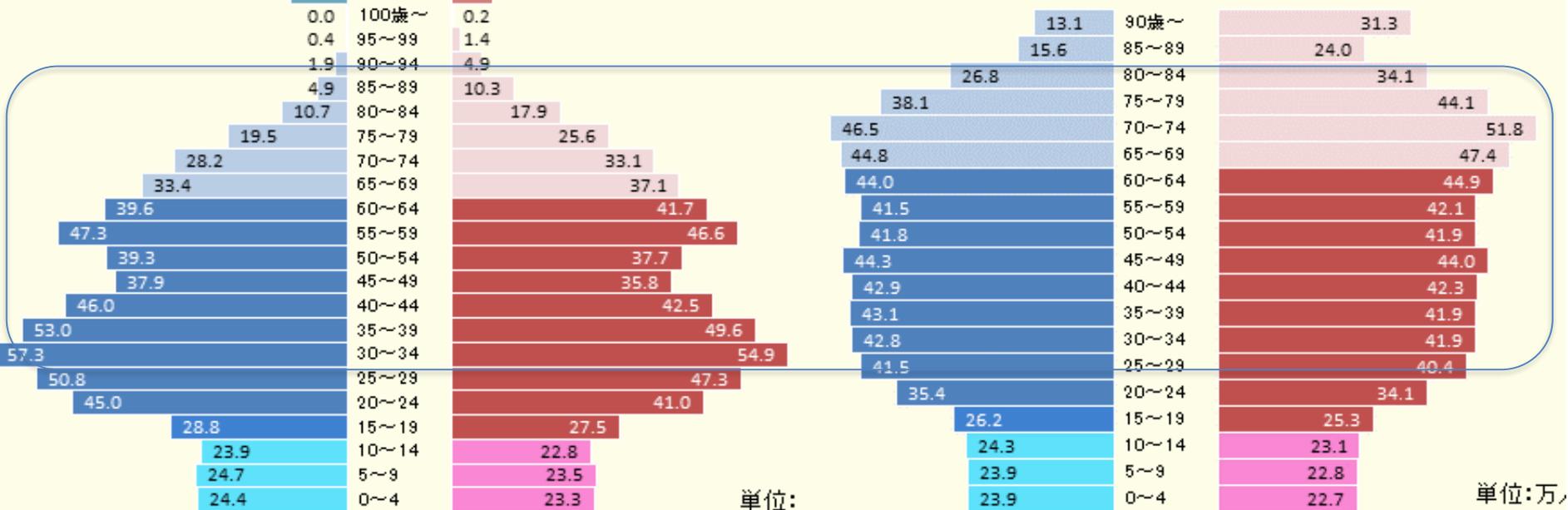
京都の人口構成(予測)

男性計:626.5万人

女性計:631.2万人

男性計:660.5万人

女性計:700.2万人



(総務省資料・GD Freakより引用)

# 館山市の人口の変化(館山市は東京都の30年先) (急激な人口減少と高齢化)

2005年

2045年

館山市の人口構成

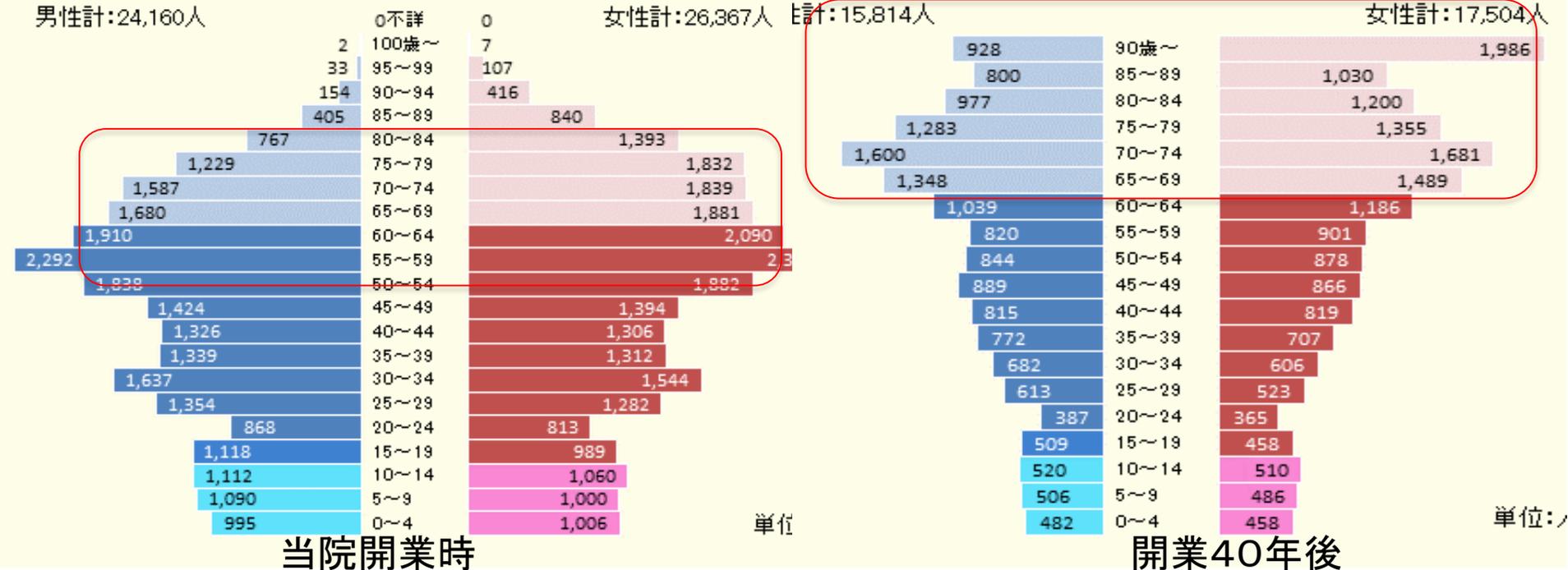
市の人口構成(予測)

男性計:24,160人

女性計:26,367人

男性計:15,814人

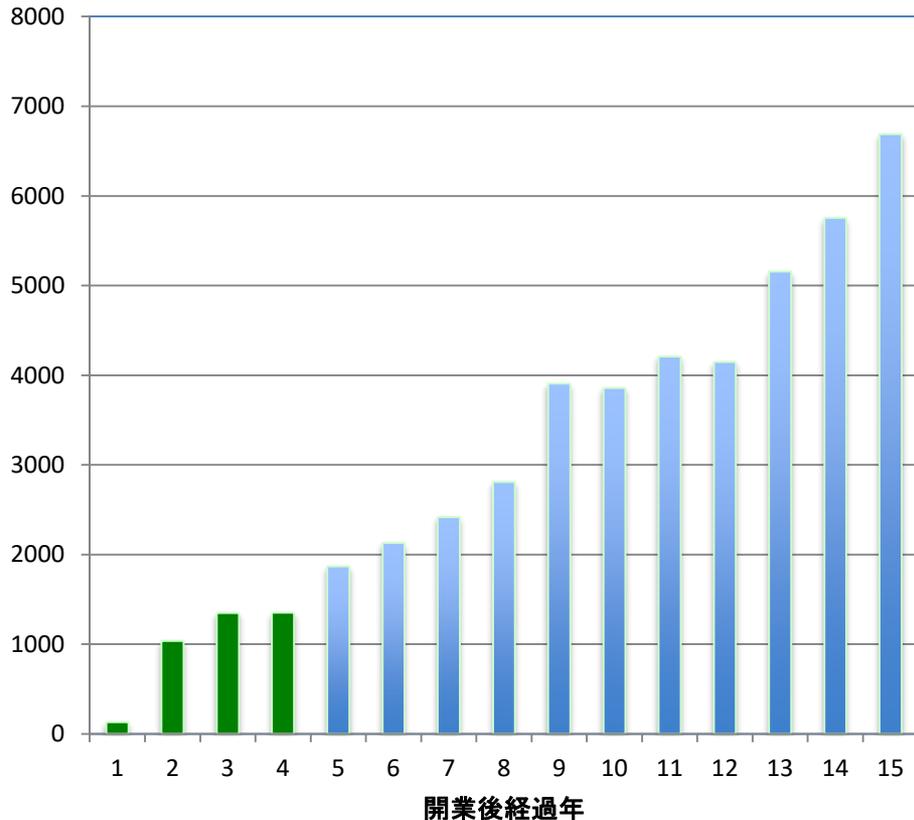
女性計:17,504人



(総務省資料・GD Freakより引用)

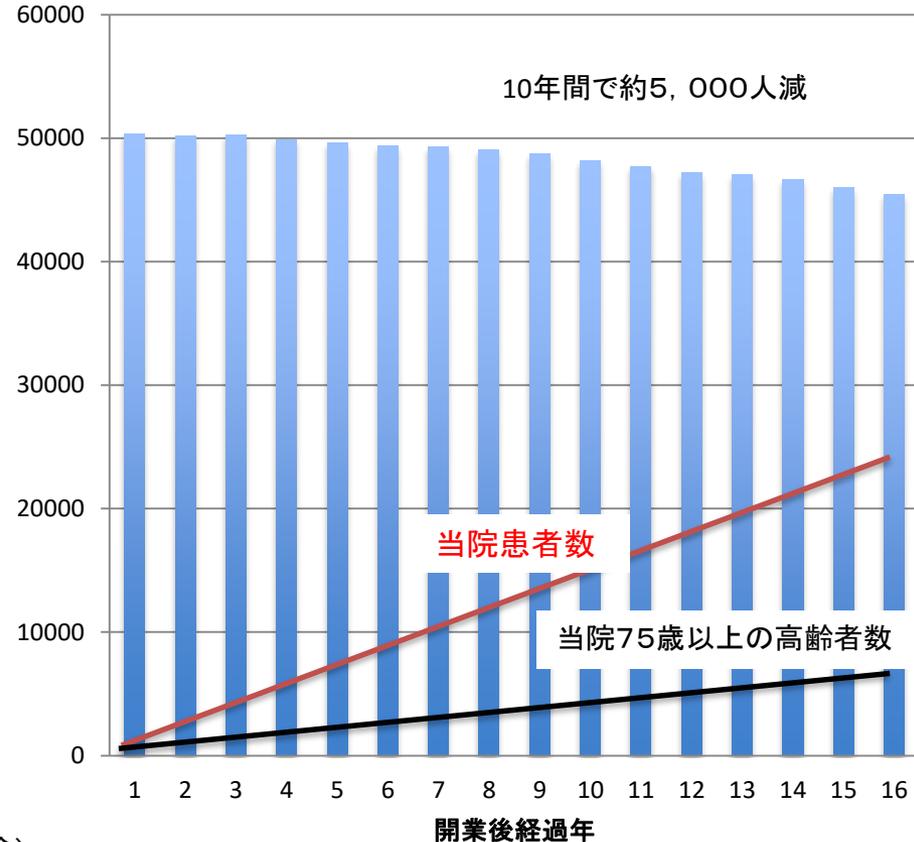
# 当院の高齢者外来患者数の推移(75歳以上)

## 当院の高齢者の年別外来患者数(実数)



\*レセコンから抽出、初年度から4年度までは■70歳以上(老人保険)、5年度からは■75歳以上(後期高齢者)で算出のため参考まで

## 館山市人口の推移(館山市役所資料より)

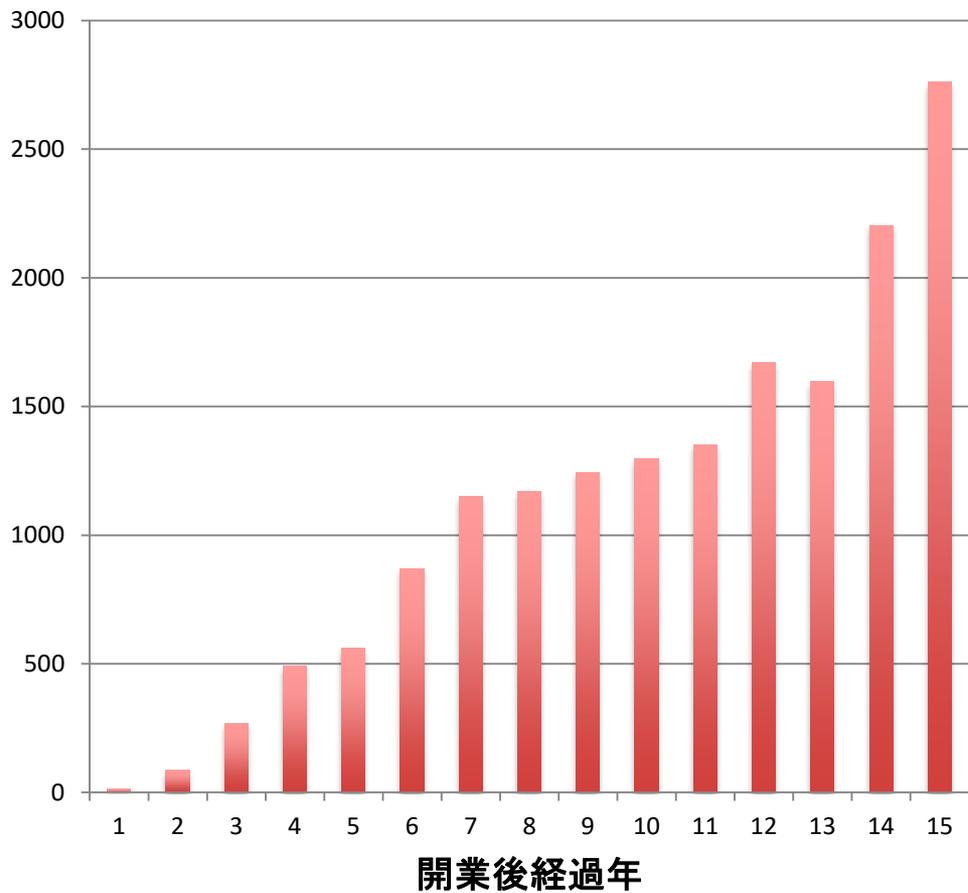


10年間で約5,000人減  
 当院のID Noが23,000、館山市の約半数。  
 約15%が当院の75歳以上で通院している。

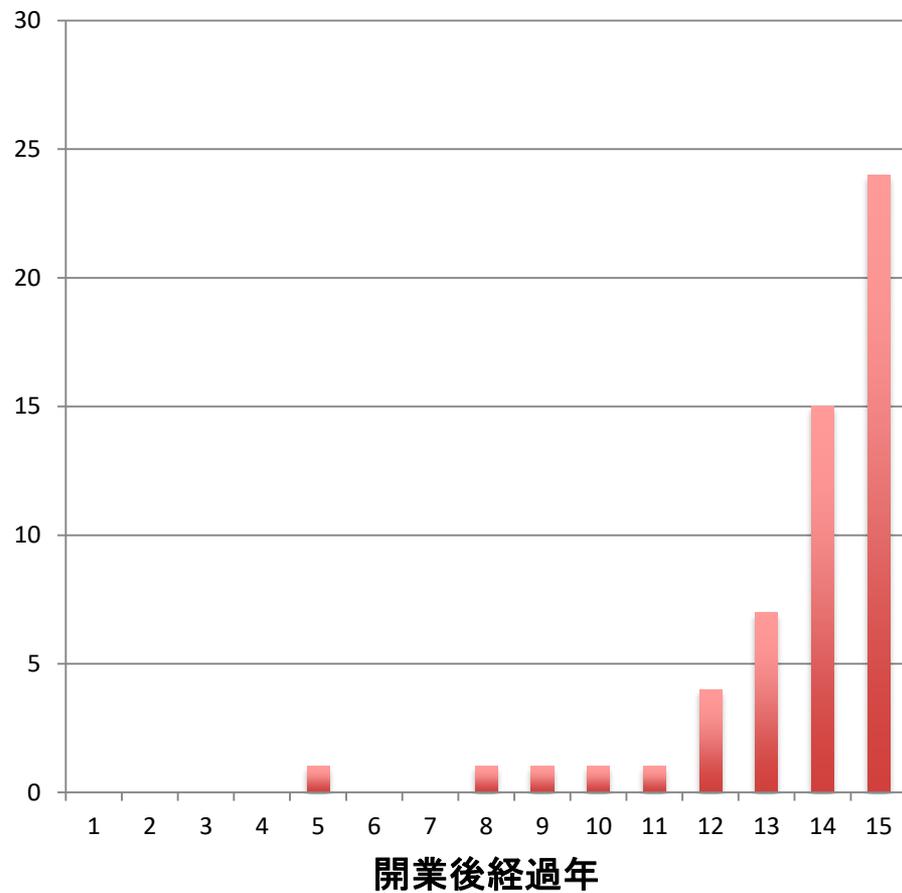
\*Problem:歩けるが車がない、公共交通機関のダイヤ減少、運転免許証返納した、老老介護、独居で身寄りがいない方の増加により、今後急速に外来患者数の減少が懸念される。解決策として訪問診療の活性化+送迎が必要。\*

# 訪問患者数の推移

## 訪問患者数の推移



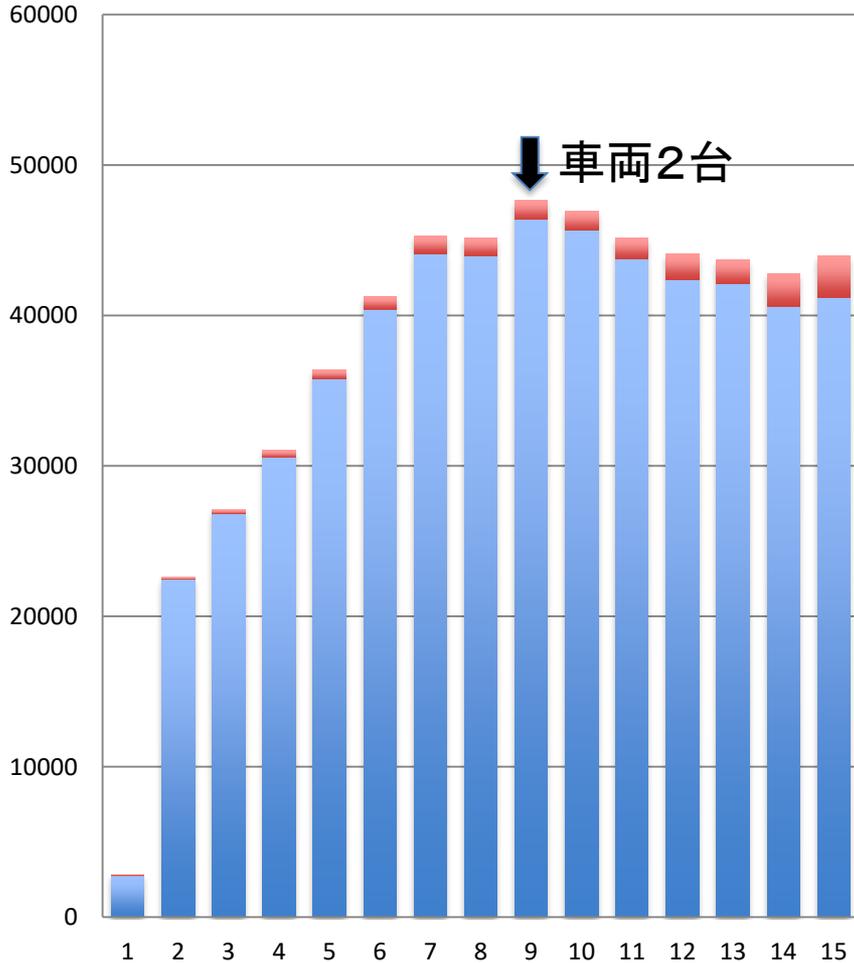
## 外来から訪問へ移行した患者数



# 当院の訪問診療患者数の推移(15年間)

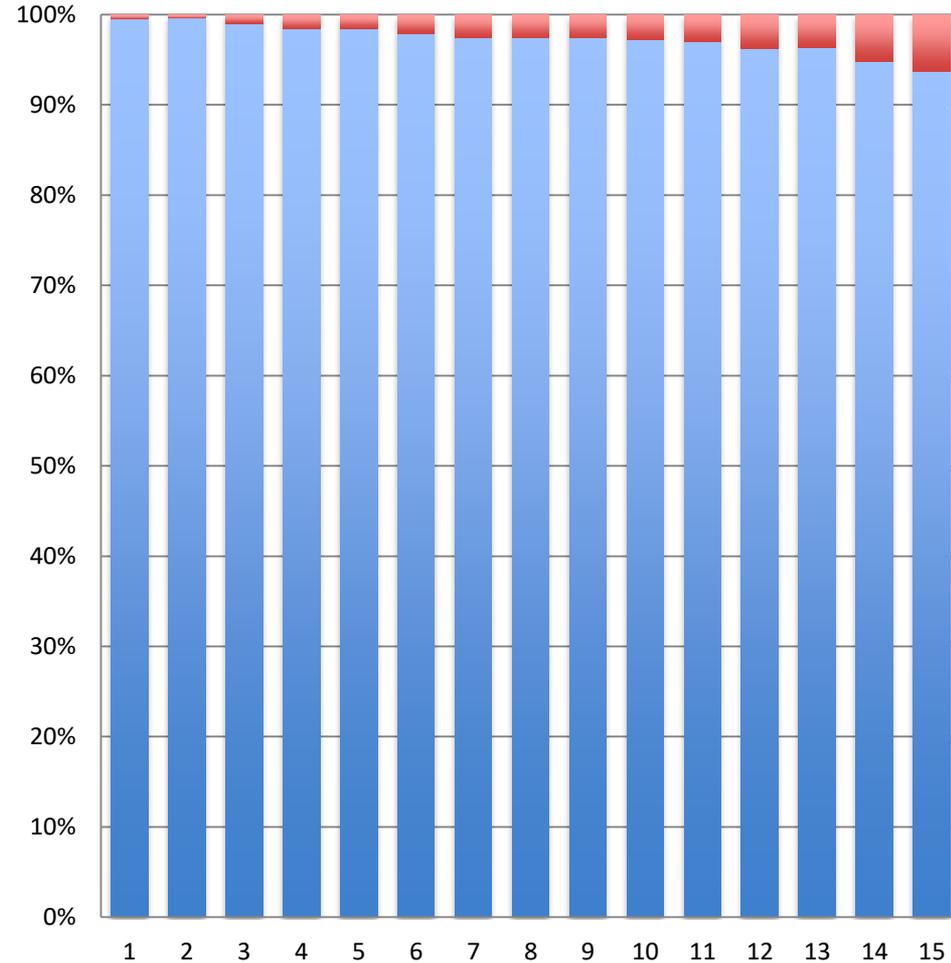
\* 館山市は今後訪問診療の充実と送迎が必要、地域と時代に応じた研修プログラム

## 外来患者数と訪問患者数(のべ)



外来 訪問

## 外来患者数と訪問患者数の割合



外来 訪問

訪問診療の出動回数の増加、現在車両が2台稼働している。来春は3台体制を予定  
(歯科医師＋歯科衛生士＋看護師の3名体制)



毎回多くの機材の積載が必要



今春から研修歯科医の外来と訪問診療頻度を同率とした。

## 訪問診療の延長線上の1日入院

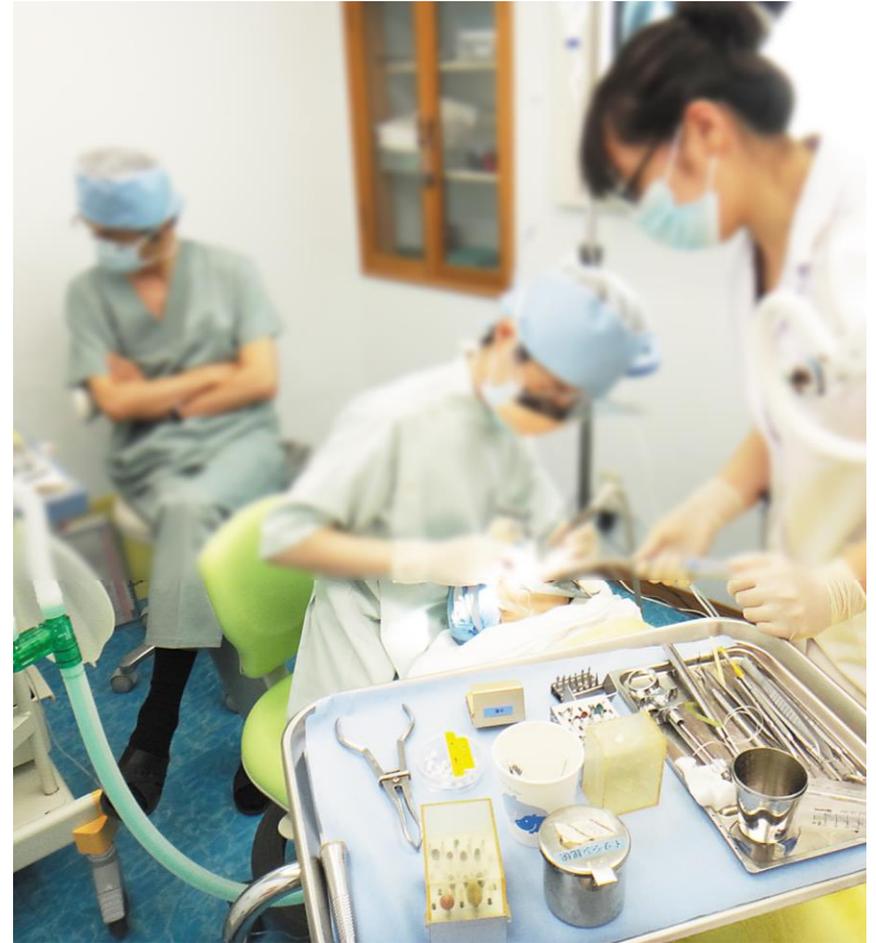
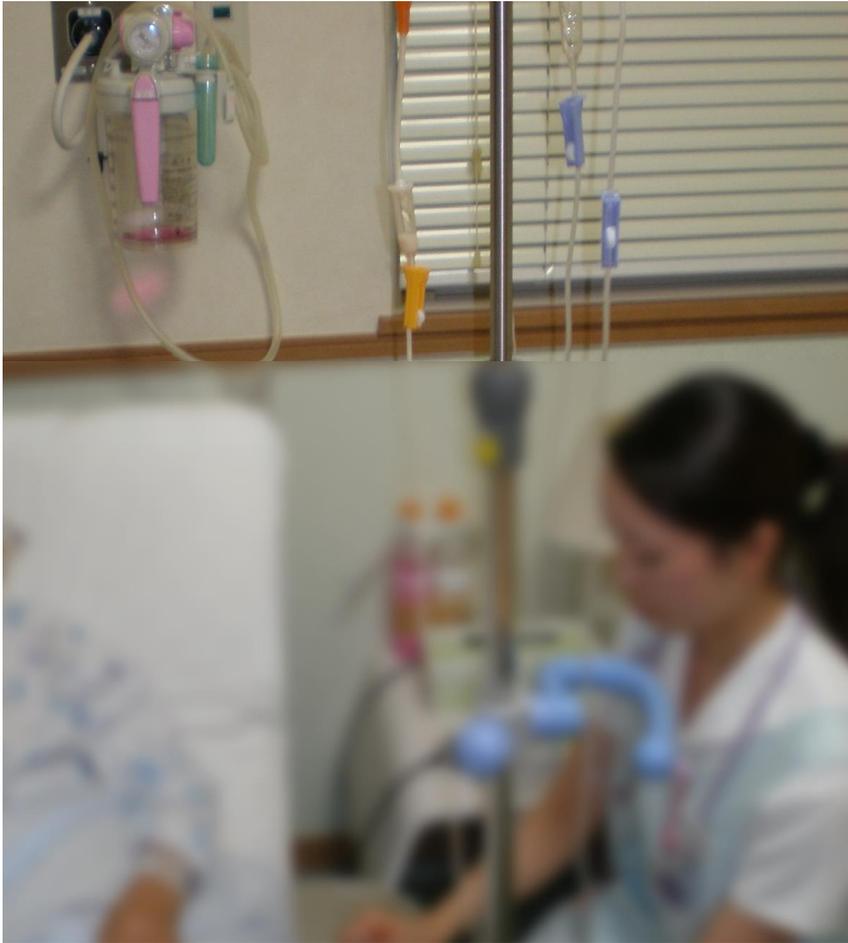
### 口腔外科手術と歯科麻酔科医と看護師によるモニター下全身管理



\*Problem:種々の基礎疾患を抱える要介護者、訪問先での外科処置や歯髄処置は危険なこともあるため、訪問診療における潜在的危険性の教育と対応が重要 \*

重篤な基礎疾患患者では研修医はアシストまたは見学であるが、基礎疾患がある場合でも安全に治療を遂行できると判断された場合は、指導歯科医の指導のもと充填処置や義歯作成などを行わせている。

# 看護師による入院管理・ \* 全身麻酔下障がい児歯科治療 \* (歯科麻酔専門医＋小児歯科専門医)



\* \* 障がい(児)者医療の実践およびスタッフも含めた教育と協働 \* \*

# 千葉県歯科医師会指定 障がい(児)者受け入れ2次医療機関 (25総合病院歯科+1有床歯科施設)

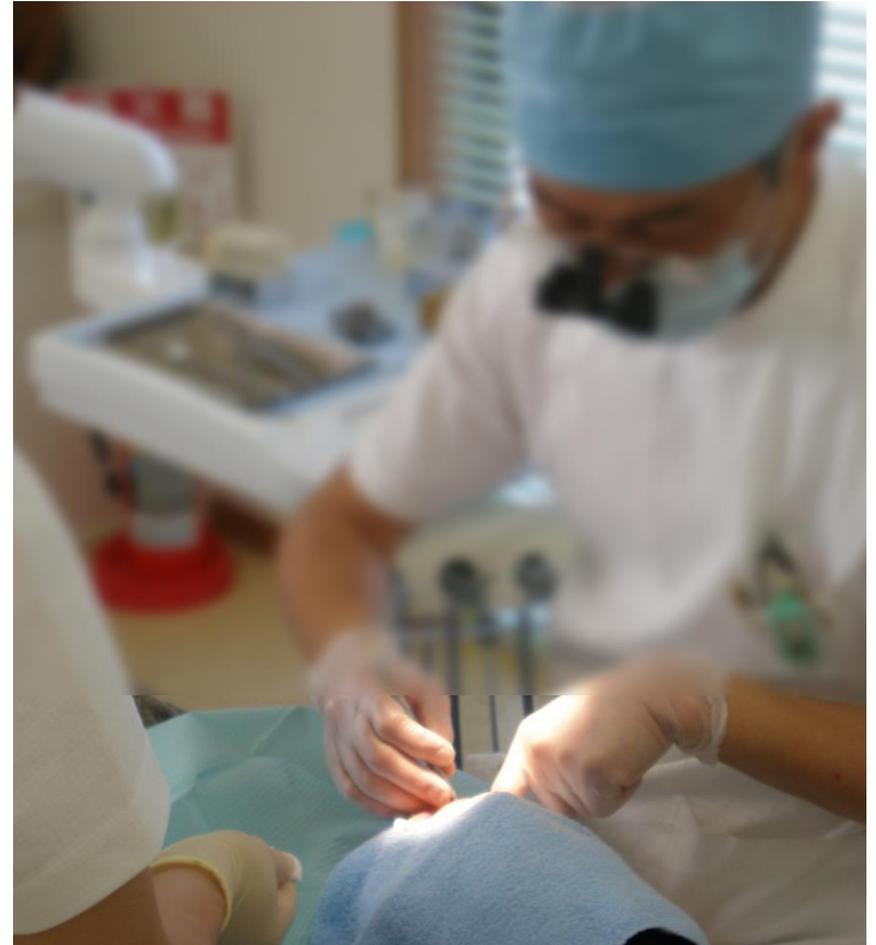
二次医療機関名簿

No.	医療機関名	住所	電話・FAX	新患日・受付時間	休診日	先天性障害者		中途障害者		嚥下機能検査
						歯科治療	全身麻酔	歯科治療	全身麻酔	
1	千葉東病院	千葉市中央区仁戸名町673	043-261-5171 043-268-2613	障害者(水)9:00~16:30 摂食・嚥下第2・第4(木) 9:00~12:00	土・日・祝	○	×	○	×	VF
2	千葉大学医学部付属病院	千葉市中央区安鼻1-8-1	043-222-7171	月・火・木・金 8:30~17:00	土・日・祝	○	○	○	○	VF
3	医)千葉メディカルセンター	千葉市中央区南町1-11-12	043-261-5111 043-261-2305	月~土 9:00~11:00	日・祝 12/29~1/3			○	○	
4	東京歯科大学千葉病院	千葉市美浜区真砂1-2-2	043-279-2222	月~土 9:00~11:00	第2土・日・祝 2月12日	○	○	○	○	VF・VE
5	千葉県こども病院	千葉市緑区辺田町579-1	043-292-2111 043-292-3815	月~金 9:00~17:00	日・祝 12/29~1/3	○	○	○	○	VF
6	医)みつわ台総合病院	千葉市若葉区若松町531-486	043-251-3030 043-284-0181	月~金 8:30~12:00 土 8:30~12:00	日・祝			○	抜歯のみ可	
7	社会保険船橋中央病院	船橋市海神6-13-10	047-433-2111 047-435-2655	月~金 8:00~11:00	土・日・祝	○	○	○	○	VF・VE
8	医)千葉セコムメディック病院	船橋市豊富町696-1	047-457-9900 047-457-9901	9:00~17:00 土 9:00~12:00	日・祝	○	○	○	○	
9	船橋市立医療センター	船橋市金杉1-21-1	047-438-3321 047-438-7323	月~金 8:30~11:00	土・日・祝	○	○	○	○	×
10	社・医)鎌ヶ谷総合病院	鎌ヶ谷市初富929-6	047-498-8111 047-498-5050	月・水~土 9:00~11:30	火・土(午後) 日・祝	○	○	○	○	VF
11	東京歯科大学市川総合病院	市川市菅野5-11-13	047-322-0151 047-325-4456	9:00~17:00 土 9:00~14:00	第2土・日・祝 2月12日	○	○	○	○	VF・VE
12	市川市リハビリテーション病院	市川市柏井町4-229-4	047-320-7111	月~金 8:30~11:30	土・日・祝 年末年始	入院患者のみ				
13	日本大学松戸歯学部付属病院	松戸市栄町西2-870-1	047-361-9511	月~金 9:00~11:00 土 9:00~10:00	日・祝・10/4 年末年始	○	○	○	○	VF
14	医)柏厚生総合病院	柏市篠籠田617	047-145-1111 047-145-1166	月~金 9:00~17:20 土 9:00~12:50	日・祝	○	○	○	○	
15	医)新八千代病院	八千代市米本2167	047-488-3251 047-488-8807	月~土 8:45~17:30	日・祝	○	×	○	×	VF・VE
16	医)八街総合病院	八街市八街ほ137-1	043-443-7311 043-443-7320	月・火・木・金・土 9:00~11:00	水・日・祝	○	○	○	○	VE
17	医)四街道徳洲会病院	四街道吉岡1830-1	043-214-0111 043-214-0255	月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00	日・祝	○	○	○	○	VF
18	総合医療センター 成田病院	成田市押畑896	0476-22-1500	月~日 9:00~17:00	祝	○	○	○	○	VF・VE
19	日本医科大学千葉北総病院	印西市鎌刈1715	0476-99-1111	月~土 8:30~11:30	日・祝・4/15 年末年始	○		○		VF・VE
20	千葉県立佐原病院	香取市佐原イ2285	0478-54-1231 0478-54-4497	月~金 9:00~17:00	土・日・祝	○	○	○	○	VF
21	総合病院国保旭中央病院	旭市イ1326	0479-63-8111 0479-63-8580	月~金 8:30~11:00	土・日・祝	○	○	○	○	VF
22	地方独立行政法人 さん心医療センター	山武市成東167	0475-82-2521 0475-82-3354	月~金 8:30~11:30	土・日・祝 12/29~1/3	○	×	○	○	
23	千葉県循環器病センター	市原市舞鶴575	0436-88-3111 0436-88-3032	月~金 8:30~11:00	土・日・祝 12/29~1/3	○	○	○	○	
24	国保直営総合病院 君津中央病院	木更津市桜井1010	0438-36-1071 0438-36-3867	月~金 8:30~11:00	土・日・祝 12/29~1/3	○	○	○	○	VF・VE
25	医)佐々木歯科 口腔顎顔面ケアクリニック	館山市下真倉626-1	0470-24-8001 0470-24-8002	月~土 9:00~18:00	日・祝	○	○	○	○	VE
26	医)亀田総合病院	輪川市東町929	04-7099-1117 04-7099-2317	月水木土 9:00~18:00 火金 9:00~19:00	日・祝	○	○	○	○	VF

# 医療安全風土作りの手法と実際を学ぶ

**\* 医療安全は  
医院、病院経営の根幹 \***

## 医療安全対策(タオルによる覆い布)



\* オペ室の滅菌オイフと同様に危険物(物理的、化学的)から目、顔を保護する効果、口角の火傷防止、衣服の汚染防止になる。さらに外来でもオペ室と同様に抜歯、抜随など歯治療でもタイムアウトやサインアウトが必要。\*

## 拡大鏡とインカム使用



狭い診療室でもインカムは個々のみでなくスタッフ全員への通達や連携、個人情報保護の観点からも有効

## BLS院内実習



全スタッフ参加を原則にしている。

\* 金属製補綴物の誤嚥、誤飲  
防止策のノブとフロス固定



10年間(のべ40,000人/年の患者)、  
糸を付けることで誤飲、誤嚥事故は  
皆無である。

\* 開業時から毎月開催している  
「全員参加型 医療安全委員会」



部署会議、KYT報告、小委員会報告と決定  
これを2.5時間～3時間(診療休止する)

- 勉強会(毎月2回)
- 毎週外来術前カンファレンス
- 毎月1回全身麻酔カンファレンスと歯科麻酔科によるプレラウンド

# 医療安全管理委員会および各種委員会 Ver.15

2019年7月14日

## 1. 医療安全管理委員会構成委員

委員長;佐々木研一院長、副委員長;佐々木美香副院長、ほか全職員

(月1回開催;毎月第4金曜日:午後1時30分~3時)

業務内容

- ①医療安全管理規定の見直しそのほかマニュアルの見直し、医療事故、ヒヤリハット報告、臨時医療安全管理委員会の召集、ほか
- ②安全管理体制の整備、研修、ほか

- 1)医療事故防止の対策、事故発生時の対応、医療事故防止に関連する方略、実施の検討、クレーム対策、患者相談窓口対応ほか
- 2)購買(主に受付で販売するもの)の管理、補充、商品変更など検討
- 3)院内感染防止体制の整備、研修、針刺し事故、HIV、MRSA、MRSE、緑膿菌、インフルエンザ予防接種、B型肝炎ワクチン、**毎月**の院内各部署における院内感染のサーベイランス実施、記録保管、感染予防、感染時の対処の方略、実施、滅菌室の整理、管理、**全職員に対する年2回の研修会**、ほか
- 4)医薬品の安全使用、適正配置、管理体制の整備、研修、医薬品取り扱い業務手順、薬品管理、輸血関連、救急薬品整備、**年2回の安全使用のための研修**、ほか
- 5)医療機器の安全使用、管理体制の整備、保守点検、機器研修、機器使用説明会、ドレーゲル麻酔器、医療ガス点検等の確認、外来ユニットなどの外来機器、内視鏡、インプラント、ドリル、ボーンソーなど手術機械、輸血保管庫の点検整備、機械室非常用ポンプ、非常用吸引器の作動手順、配管管理の実施、技工室設置器具、**医療機器導入時の研修、年2回の定期研修**、ほか  
**ただし、電子カルテ、コピー機、関連は受付業務**

(但し、外来キャビネットおよびチェアは1ユニットにつき数名の衛生士で分担、管理を徹底)ほか

- 6)病棟運営、管理、患者対応、給食取扱い、オペ室運営、管理、入院患者のオリエンテーション、各種書類、看護日誌などの書類整備、家族、見舞い対応、全身管理、褥創対策、オペ室整備、清掃、消毒、器材管理、クレーム対応、ほか
- 7)受付、診療録、医療事務、相談窓口(情報開示、クレーム対応)の運営、管理、個人情報取り扱い、電子カルテ、レセプト、受付業務、電子カルテの保守点検、故障などの対応、ほか
- 8)訪問診療の運営、安全、管理、ほか
- 9)臨床検査の運営、管理、契約見直し、血液検査、尿検査、CT、MRI、シンチ、心電図、肺機能検査、アレルギー検査、ほか
- 10)放射線管理、運営、ガラスバッジ管理、画像機器、画像サーバーの保守、株トシロー漏洩検査点検、ガラスバッジの伝票管理含む、画像機器、外来モニターの保守点検、ほか
- 11)広報活動の内容充実、徹底、各種広報活動(広報作成、ホームページ、フォーラム、ほか)  
広報は年2回発刊(毎年4月、10月)する。
- 12)勉強会(月2回)、研修会開催(年2回以上の医療安全講習)  
**全職員対象の医療安全管理研修を年2回計画する。**
- 13)倫理委員会 再生医療等安全性確保法に関連する議案やその他必要が生じたときに適宜招集する。

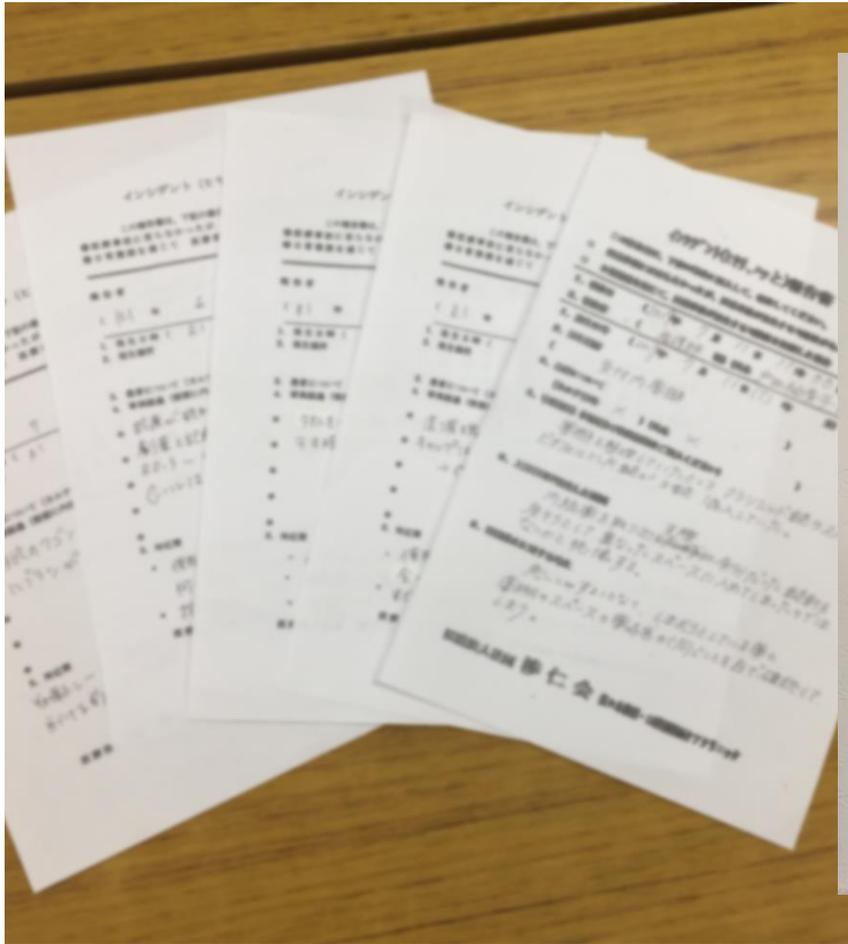
その他

I)消防、防災、防犯訓練の計画(防火管理者は消防署へ日程、書類提出および連絡、KTS、オリロー、東亜警備などへ日程連絡)実施、報告書作成、記録、保管

**年2回計画、年1回は実地訓練とする。1回は机上訓練とする。**

II)WEB ページ(ホームページ)の年に2~4回の改訂、改良を行う。Pangaea Productionへの依頼。

\* インシデント報告→KYTによるRCA抽出→月間標語の掲  
示→有害事象が再発するようならPDCAサイクル\*



# 地域医療連携

多職種連携・地域医療連携を推進するためには

- 1: 地域で行われている医科・介護関係の勉強会や講習会にはなるべく出席する。
- 2: 地域医療連携はおもに訪問診療を行うことで醸成される。それには地域包括支援センターやケアマネージャーとの密な連携が不可欠。
- 3: 歯科医院からの医科・薬局・看護師・介護関係者・行政への勉強会などの働きかけも有効。
- 4: 地域に存在する総合病院特に歯科のない総合病院、精神科病院、特別養護老人ホーム、グループホームなど20施設以上と連携
- 5: 総合病院内のNSTチームやST、PT含めた摂食嚥下リハチームとの勉強会、講習会などが特に有効で、そこから多くの医師も参加するようになり連携の絆が強くなる。
- 6: 訪問診療の求めには素早く応じ、丁寧で誠実な対応を心がける。できれば患者様の情報共有を直接、医師、Nsなどに伝える努力をする。各種書類の発行が遅れないように努める。

第15回 南総再生歯科医療研究会  
(本会は年2回開催している地域医療連携の会)  
歯科医師、医師、歯科衛生士、看護師、介護関係者、行政が参加



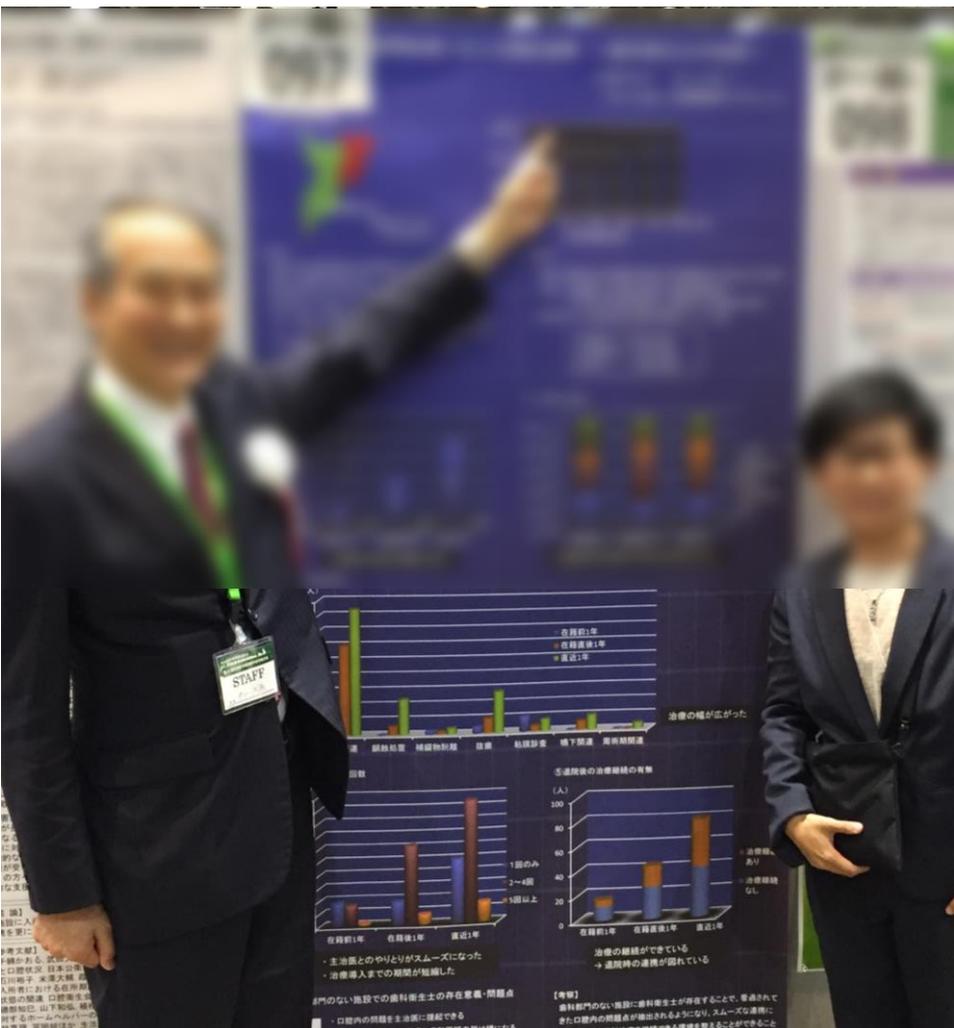
- 南房総緩和ケア懇話会世話人
- 安房地域医療ねっと会員
- 安房地域医療センターNSTと定期  
合同カンファレンス
- 同病院救命救急科および安房消防  
救急隊と連携し、顎骨骨折など外傷  
治療

# 歯科医療の最先端を学会で学ぶ

**\* 研修歯科医の学会、講演会参加は重要！！ \***

- 商業誌などの知識だけではなく、歯科医師として積極的に文献検索など情報収集する能力が必要(医学部、歯学部図書館利用など)
- 本人が興味を持つ学会会員(早期の専門医取得のため)になるようサポートする。
- 1年間で最低限1つ研究テーマを決めて院内発表を行う。
- レクリエーションなど主催し、スタッフとの交流やリーダーシップを養成(計画、実行力、会計など)。
- 機会と意欲があれば学会発表を行う。今年度は研修歯科医にIgG4関連疾患について日本口腔外科学会で発表予定。

# 学会活動(今年は研修医がはじめて発表予定) 毎年2-6演題発表している



最近1年間で日本老年歯科医学会、日本口腔外科学会など4回発表した。 38

# まとめ

- ・これからの超高齢社会に於ける要介護者急増と訪問診療の普及のために大学教育が重要。また研修医も訪問診療の重要性とやりがいを持てる座学で教わった内容と臨床がつながるプログラムが必要。
- ・歯科医療に対する医師(医科)や地方行政の理解がまだ充分とはいえない。多職種連携は医科や地方行政の理解があって進む(例:歯周病と全身疾患、歯科における全身麻酔、口腔がんなど)。
- ・歯科、医科の基本的疾患や治療のガイドライン学習による基本的知識の習得。

## —研修歯科医確保の工夫—

- ・当院のような地方には研修医は来たがらないため、現在ホームページ、研修施設情報サイト利用などで対応を検討中。
- ・協力型、管理型から単独型へ移行するにつれ指導歯科医とプログラム責任者を増員し、研修受け入れ人数を増加している。

ご清聴ありがとうございました。